

社会福祉学科			社会福祉 専攻		
科目名: コミュニケーション論			担当教員 氏名: 経田 博子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 後期	総合科目	演習	選択	交流分析士2級受験資格
実務経験を用いてどのよ 交流分析士・TAカウンセラー・産業カウンセラーとしての経験を生かして、自分の思考・感情・行動の癖に うな授業を行っているか: 気づき、コミュニケーション時の選択肢を増やすこと等について教授する					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
コミュニケーション心理学ともいわれる交流分析を学ぶ。人の心の在り様と、思考・感情・行動について分析し、活用方法を学習と演習から学ぶ。また、自分と他者のコミュニケーションパターンを理解し、交流の改善方法について学ぶ。					交流分析・交流パターン・ストローク・傾聴 ・人生の立場・心理ゲーム・時間の構造化 ・人生脚本
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 3. 5. 10	
A 知識・理解力		交流分析の理論を理解し、ワークなどから自己理解を深める			
D 問題解決力		問題に気づき、いろいろな対処方法から「今ここで」必要な対応を理解する			
E 自己管理能力		自分の思考・感情・行動のパターンを理解し、自分の選択に責任を持つ			
F チームワーク・リーダーシップ		ワークショップ・グループワークを通じて、協調性や自分の役割を理解する			
H コミュニケーション力		交流分析の哲学を意識して、より良い人間関係を築く能力を養う			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 80 %	レポート: 10 %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %	
特記事項: ・上記「その他」においては、授業中の態度、授業中の課題提出・TAシートの書き込み状況などで評価する ・本科目ではアクティブ・ラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適宜小テストを行う。授業内で、グループワークの準備やまとめとしてのレポート提出を行う。最終試験は、別に定めた日時に実施する					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜小テスト、レポート課題を行い、採点し個人のものとは返却する。グループとしてのレポート提出においては、返却はしない。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①コミュニケーションとは 自己紹介 自我状態 ストローク			【予習】自我状態・ストロークを読む	60分	
②ストロークの活用 価値を認める 人生の立場			【予習】人生の立場を読む	予習30分 復習30分	
③いろいろな見方 人生の立場 自分の事例・グループワーク			【予習】TAシートP29記入	予習60分 復習30分	
④OK・OKの思考・感情・行動 人生の立場 ディスカウント 小テスト			【予習】人生の立場を読む	予習30分 復習30分	
⑤心理ゲームとは ゲームの公式			【予習】心理ゲームを読む	予習30分 復習30分	
⑥自分がついついしてしまうこと ゲームの図式 代表的なゲーム			【予習・復習】心理ゲームを読む	予習30分 復習30分	
⑦嫌な感情の減らし方 ゲームをやめるには・グループワーク 小テスト			【予習】TAシートP35記入	予習60分 復習30分	
⑧ラケット感情 ストレスと感情 グループワーク			【予習】心理ゲーム・ラケット感情を読む	予習30分 復習30分	
⑨時間の構造化			【予習】時間の構造化を読む	予習30分 復習30分	
⑩充実した時間の過ごし方 時間の構造化 小テスト			【予習】TAシートP37記入	予習30分 復習30分	
⑪自分の物語 人生脚本とは 幼いころに決めたこと			【予習】人生脚本とはを読む	予習30分 復習30分	
⑫自分の中にある禁止令 小テスト			【予習】禁止令を読む	予習30分 復習30分	
⑬拮抗禁止令とドライバー プログラム			【予習】ドライバーまでを読む	予習30分 復習30分	
⑭ミニスクリプト 自分を止めるもの 許しを与える			【予習】ミニスクリプトまで読む	予習30分 復習30分	
⑮自立に向けて 自分がなりたい自分			【予習】TAシートP45記入	予習30分 復習30分	
使用テキスト: 日本交流分析協会発行 交流分析士2級テキスト・シート・エゴグラム 使用 (前期の人間関係論と同じテキスト)			その他参考文献など: 交流分析入門(チーム医療)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 自分や自分の周りの人とより良い関わりができるように、自分を成長させていく貴重な時間です。テキストの理解と共にTAシートの記入など、自身を見直す時間を丁寧になさってください。 前期の「人間関係論」と後期の「コミュニケーション論」の両方で40時間以上受講した人には、2月ごろ実施のNPO法人日本交流分析協会認定「2級交流分析士」(登録商標)の受験資格が与えられます。					